

CAMPUS LIFE

キャンパスライフ

3月

61期生卒業式



卒業証書授与の様子

3月6日は61期生60名の卒業式でした。今年は保護者参加が可能となり、たくさんのご家族が参加してくれました。

61期生は、2020年入学です。入学時COVIT19により、毎年恒例の体育館での入学式が行えず、校内の教室で保護者や来賓の皆様も参加せず、教員のみで入学を祝う会を行いました。その後、すぐ緊急事態宣言になり、授業がオンラインになりました。

慣れない学校生活で不安の中オンライン授業に切り替わり、友達を作ることもままならなかった学生達。未知のウイルスにどう対応すればいいかわからない状況が続いたため、行動制限が強いられ、色々な行事も行うことができませんでした。そんな状況下でも仲間を作り、団結していった学生達でした。



渡辺学校長より共にした仲間の大切さ、患者様に寄り添う看護の難しさのお話があり、初代学校長の若月先生のお言葉である「弱いものを支えるのは人間の義務、協同の精神」についてもお言葉をいただきました。

JA長野厚生連代表理事の洞理事長からは、安心して暮らせる地域作りのため、多様性の問題と向き合うこと、人の命と健康を守ることに誇りをもって頑張り、共に厚生連支援・尽力してくださいとお言葉をいただきました。

答辞の60期生代表者の小林真織さんから、看護の道に悩むことはあったものの、みんながいたから乗り越えられたという仲間への感謝や、母親への感謝の言葉もあり、最後まで彼女らしさがでていた素直な言葉でした。





式終了後に、学生からのサプライズで3学年教員へ歌や花束、色紙が贈呈されました。教員全員涙です。学生達は卒業式前に集合する時間があまりなかったのですが、いつの間にこんな準備をしていたのでしょうか。

また、教員からも卒業生にサプライズ動画があり、保護者の皆様と最後まで温かい気持ちの式になりました。

入学式も戴帽式も参加することができなかった保護者の皆様も最後の卒業式は参加することができて本当に良かったです。子供たちの成長を見ることができたのではないのでしょうか。ここまでこれたのは、保護者の皆様の支援があったからこそです。看護師になっても、経験を積むまではまだまだ大変な時期が続くと思います。これからも一番身近な存在として応援してくださいね。

卒業しても、教員はいつでもみなさんを応援しています。辛い時も嬉しい時も何かあれば気軽に遊びに来てくださいね。卒業おめでとうございます。